

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0105	政策名	農工商観連携の推進	施策主管課	農政課	課長名	菊池 正彦
政策の目指す姿	多様な産業が連携し、高付加価値を創出しています						
施策No	02	施策名	特産品の開発	関係課名			
施策の目指す姿	地場産品を活用し付加価値の高い多くの商品を開発しています						
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者等が6次産業化に取り組むには、生産、加工、販売、経営の全てを行う必要があることから、加工・販売施設整備には初期投資の負担が大きい。6次産業化に取り組むことを躊躇している事業者がみられる状況です。また、既存事業者においては、消費者ニーズに即した商品開発や販路開拓に苦慮している状況です。 ・全国的なコンクールにおいて賞を受賞するワインや自らが栽培したぶどうを使用したレーズンなど、付加価値の高い商品やサービスを生み出そうとする取組が行われているほか、市内で生産されたぶどうやりんご等を原料とした果実酒製造への新規参入や果実の高付加価値化のため、平成28年度に国の構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受けており、平成31年4月に特区制度を活用したワイナリーが設立されています。 ・大迫地域のワインは50年以上の歴史があるものの、日本ワインの産地としての岩手県、花巻市の認知度は、首都圏をはじめとする県外においてはまだまだ低い状況です。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化に必要な技術・知識の習得や商品開発、販路開拓、加工・販売施設整備など、事業者によって様々な課題を有していることから、事業者の課題に沿った支援が必要です。 ・花巻産ワインの販路拡大とワイナリーの新規参入を促進するため、ワイン産地としての認知度向上を図る必要があります。 							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化に向けての知識習得また既存事業者はステップアップを図り、販路開拓支援等が必要であることから、セミナー・個別相談会を継続して実施していく。 ・東京都内で開催した「花巻ワインフェア」のアンケート調査によると花巻産のワインの認知度はまだ低いことから、効率的に首都圏等へPRしていくため、引き続きWEB等を活用して情報発信に取り組んでいく。

反映状況

<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化セミナー2回、個別相談会を3回開催し新規事業者の掘り起こしや既存事業者のステップアップにつながった。 ・東京、大阪、福岡で「花巻ワイン・シードルフェア」の開催、マッチング営業ツールを活用した商談などのほか、既存ワイナリーの醸造設備導入等にかかる費用に対し支援し、認知度の向上と事業拡大が図られた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 特産品開発と販路拡大の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○6次産業化に必要な技術・知識の習得支援 ○6次産業化志向者及び実践者を対象としたセミナー・個別相談会の開催 ○商品開発や加工技術、販路開拓等の事業者の課題に沿った支援 ○加工・販売施設整備に対する支援 ・新たな加工品開発、加工施設整備等に係る経費の一部を補助 <p>(2) ワイン・シードル等果実酒の製造支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○醸造技術習得に対する支援 ・醸造技術の習得・向上を図るため醸造志向者の研修受入れに係る経費の一部を補助 ○ワイナリー建設志向者に対する商品開発や販路開拓等に対する支援 ・醸造技術・ワイナリー経営等に関するセミナーの開催 ○新規ワイナリー整備や既存ワイナリーの設備導入等に対する支援 ・ワイナリー整備、商品開発等に係る経費の一部を補助 ○花巻ワインの販路拡大とワイン産地としての認知度向上を目的としたプロモーション活動の実施 ・首都圏等でのワインプロモーションイベントの開催

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
市の支援により地域資源の高付加価値化に取り組んでいる事業件数	地場産品を活用した高付加価値化に取り組むことで、農業者の所得が向上するとともに、地域産業が活性化していることを示す指標（新商品及び新規事業者の増加）	出典：定住推進課 6次産業化に関する市補助金制度を活用した事業所数 補助金名：①農工商連携事業補助金（加工品開発、加工施設・機械整備）②ワイナリー整備等事業補助金（商品開発・販路開拓、新規ワイナリー設立をカウント。既存ワイナリー対象メニュー（醸造設備導入、試飲室・直売所整備、販路開拓）を除く。	件	目標値		5.00	5.00	5.00	5.00	
				実績値		9.00	4.00	3.00		
市の支援が終了後も地域資源の高付加価値化への取組を継続している事業件数	地場産品を活用した高付加価値化に取り組むことで、農業者の所得が向上するとともに、地域産業が活性化していることを示す指標（6次産業化に関する事業の継続状況）	測定方法：年度末における事業の継続状況を調査する。 対象：6次産業化に関する市補助金制度を活用した事業所	件	目標値		22.00	24.00	26.00	28.00	
				実績値		22.00	24.00	29.00		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「市の支援により地域資源の高付加価値化に取り組んでいる事業件数」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、事業者自体の活動が減少し、新商品開発等に取り組む事業者が少なかったことから目標値を下回る結果となった。 <p>■成果指標「市の支援が終了後も地域資源の高付加価値化への取組を継続している事業件数」・・・【達成度a】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までに農商工連携事業補助金を活用した30事業のうち24事業が事業継続。また、ワイナリー整備等事業補助金を活用した5事業が事業継続したことにより、目標を達成した。

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(6次産業化推進事業費) 6次産業化に興味・関心のある事業者に対して、事業化に向けた継続的な支援を行っていく必要がある。 (花巻クラフトワイン・シードルブランド化推進事業) ワイナリー建設志向者に対し、醸造技術習得や醸造設備等の整備に対する支援を行うとともに、本市がワイン産地であるとの認識がまだ低いことから、WEBサイト等の活用やフェアの開催など首都圏等へ向けた情報発信を引き続き行い、ワイン産地としてのPRを行っていく必要がある。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化志向者を対象として知識習得、販路拡大等は図ることを目的としたセミナー・個別相談会を開催しているが、6次産業化に関心がある事業者が一定数いることから、引き続きセミナーの開催や個別相談会を実施する必要がある。 ・社会状況をみながら、市内ワイナリーの経営安定のため、継続して首都圏等へ向けたPR及び販路の拡大が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化に向けての知識習得また既存事業者はステップアップを図り、販路開拓支援等が必要であることから、セミナー・個別相談会を継続して実施していく。 ・首都圏でのアンケート調査などによると花巻産のワインの認知度はまだ低いことから、効率的に首都圏等へPRしていくため、引き続きWEB等の活用やフェアの開催など情報発信に取り組んでいく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
050	6次産業化推進事業費	農政	一致	直結	C
	6次産業化志向者を対象に、専門的知識取得を目的としたセミナーを開催 (2回開催)			A	
060	花巻クラフトワイン・シードルブランド化推	農政	一致	直結	C
	醸造技術の習得・向上を図るため志向者の研修受入れに対する支援、醸造技術・ワイナリー経営セミナーを開催 (コロナ禍のため中止)			A	